

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年3月31日～2019年3月22日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの受益証券
	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p>ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド 2014-03 (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2017年9月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2680>
<2681>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 額	期中 騰落 率				
設定 (2014年3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末 (2014年9月22日)	10,140	110	250	2.5	5.2	101.8	—	98.6
2期末 (2015年3月23日)	10,237	160	257	2.5	5.2	98.0	—	72.0
3期末 (2015年9月24日)	9,950	100	△ 187	△ 1.8	2.2	96.4	—	66.2
4期末 (2016年3月22日)	9,908	100	58	0.6	1.9	94.8	—	57.8
5期末 (2016年9月23日)	10,057	120	269	2.7	2.6	92.8	—	50.7
6期末 (2017年3月22日)	9,718	100	△ 239	△ 2.4	1.4	95.7	—	47.3
7期末 (2017年9月22日)	9,791	100	173	1.8	1.7	98.1	—	38.4

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

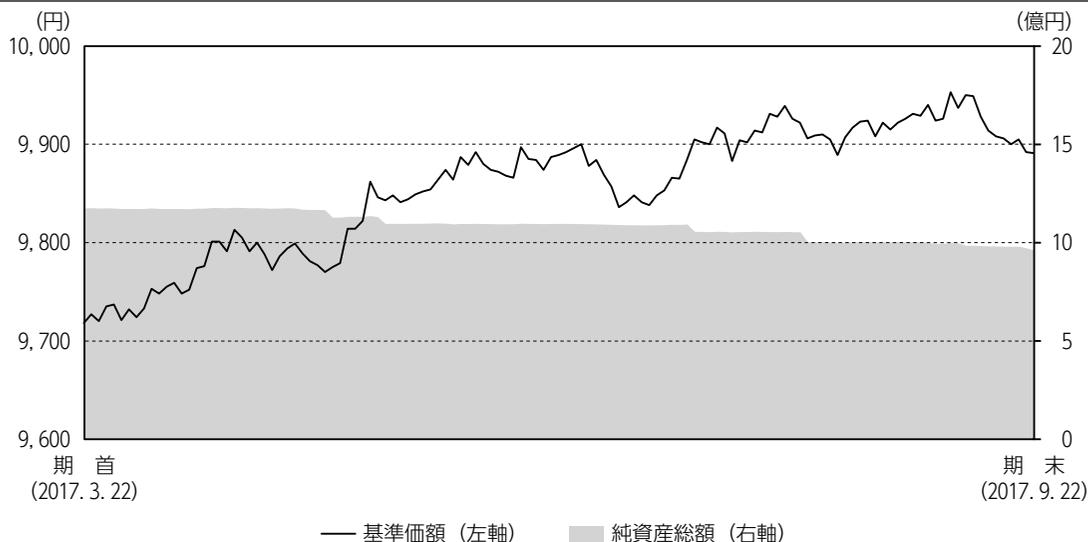
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,718円

期末：9,791円 (分配金100円)

騰落率：1.8% (分配金込み)

■ 基準価額の変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なった結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）などがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2017年 3月22日	9,718	—	95.7	—
3月末	9,724	0.1	96.3	—
4月末	9,794	0.8	95.6	—
5月末	9,864	1.5	95.7	—
6月末	9,869	1.6	98.4	—
7月末	9,914	2.0	96.6	—
8月末	9,929	2.2	94.8	—
(期 末) 2017年 9月22日	9,891	1.8	98.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2017. 3. 23 ~ 2017. 9. 22）

海外債券市況

米国やオーストラリアなどの海外債券市況は、期首から2017年7月上旬にかけては、シリアや北朝鮮の情勢に対する警戒感や、米国トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などが金利の低下要因となる一方、フランス大統領選挙の結果に対する安心感や先進各国の金融緩和姿勢後退などが金利を押し上げ、国債金利は方向感なく推移しました。その後は、トランプ政権の政策実行能力への懸念や北朝鮮情勢への警戒感が再び強まったことなどから国債金利は低下に転じましたが、9月に入ると、地政学リスクへの懸念後退や米国の金融緩和解除観測などを背景に、期末にかけて国債金利の上昇圧力が強まりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債は、金利が低下しました。発行体信用力に目立った悪化は見られず、世界的な低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、多くの銘柄でスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小しました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2017. 3. 23 ～ 2017. 9. 22）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が13,705,566円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益13,705,566円（1万口当り139.75円）を分配対象額として、うち9,806,655円（1万口当り100円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 3. 23~2017. 9. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.694%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,856円です。
（投信会社）	(27)	(0.272)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0.408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	70	0.707	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年3月23日から2017年9月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	22,943	26,000	220,930	262,350

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	992,580	794,594	960,902

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	960,902	96.1
コール・ローン等、その他	38,549	3.9
投資信託財産総額	999,451	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.24円、1オーストラリア・ドル=88.76円です。

(注3) ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,156,236千円)の投資信託財産総額(1,166,173千円)に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,937,264,730円
コール・ローン等	23,549,223
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド(評価額)	960,902,656
未収入金	952,812,851
(B) 負債	977,104,383
未払金	952,500,946
未払収益分配金	9,806,655
未払解約金	7,978,892
未払信託報酬	6,773,552
その他未払費用	44,338
(C) 純資産総額(A-B)	960,160,347
元本	980,665,543
次期繰越損益金	△ 20,505,196
(D) 受益権総口数	980,665,543口
1万口当り基準価額(C/D)	9,791円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,791円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,505,196円です。

■損益の状況

当期 自2017年3月23日 至2017年9月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,957円
支払利息	△ 4,957
(B) 有価証券売買損益	16,066,451
売買益	54,185,527
売買損	△ 38,119,076
(C) 有価証券評価差損益	11,785,500
(D) 信託報酬等	△ 7,609,498
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	20,237,496
(F) 前期繰越損益金	△ 34,043,532
(G) 解約差損益金	3,107,495
(H) 合計(E+F+G)	△ 10,698,541
(I) 収益分配金	△ 9,806,655
次期繰越損益金(H+I)	△ 20,505,196

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 額	期 騰 落 中 率				
設 定 (2014年 3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2014年 9月22日)	10,587	135	722	7.2	15.0	97.3	—	99.1
2 期末 (2015年 3月23日)	11,325	165	903	8.5	16.6	96.5	—	88.4
3 期末 (2015年 9月24日)	10,771	175	△ 379	△ 3.3	8.4	98.0	—	27.0
4 期末 (2016年 3月22日)	10,193	160	△ 418	△ 3.9	4.2	95.2	—	23.0
5 期末 (2016年 9月23日)	9,495	100	△ 598	△ 5.9	0.9	92.8	—	22.1
6 期末 (2017年 3月22日)	10,211	130	846	8.9	3.6	97.3	—	20.5
7 期末 (2017年 9月22日)	10,467	140	396	3.9	4.2	97.6	—	17.8

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

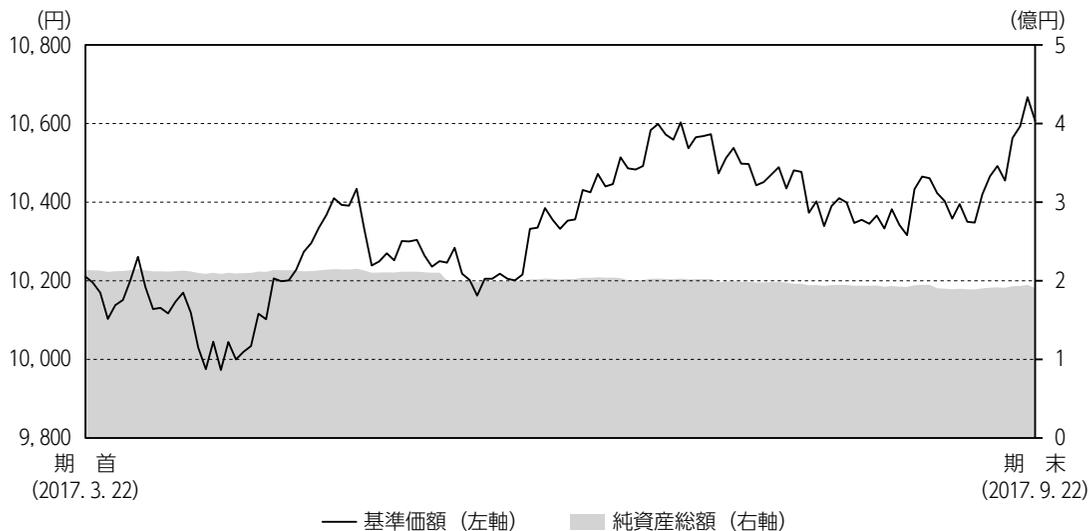
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,211円

期末：10,467円（分配金140円）

騰落率：3.9%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）に加え、米ドルと豪ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2017年 3月22日	10,211	—	97.3	—
3 月末	10,261	0.5	97.3	—
4 月末	10,201	△ 0.1	95.3	—
5 月末	10,250	0.4	96.0	—
6 月末	10,440	2.2	97.6	—
7 月末	10,443	2.3	98.2	—
8 月末	10,465	2.5	94.8	—
(期 末) 2017年 9月22日	10,607	3.9	97.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 3. 23 ~ 2017. 9. 22)

■ 海外債券市況

米国やオーストラリアなどの海外債券市況は、期首から2017年7月上旬にかけては、シリアや北朝鮮の情勢に対する警戒感や、米国トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などが金利の低下要因となる一方、フランス大統領選挙の結果に対する安心感や先進各国の金融緩和姿勢後退などが金利を押し上げ、国債金利は方向感なく推移しました。その後は、トランプ政権の政策実行能力への懸念や北朝鮮情勢への警戒感が再び強まったことなどから国債金利は低下に転じましたが、9月に入ると、地政学リスクへの懸念後退や米国の金融緩和解除観測などを背景に、期末にかけて国債金利の上昇圧力が強まりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債は、金利が低下しました。発行体信用力に目立った悪化は見られず、世界的な低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、多くの銘柄でスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小しました。

■ 為替相場

米ドルや豪ドルは対円で上昇しました。期中は、北朝鮮情勢などの地政学リスクに対する警戒感やトランプ政権の政策実行能力への懸念などが、折りに触れて円高圧力となりました。しかし、米国の金融緩和解除の進展観測などを背景に、期を通じて見ると米ドルや豪ドルは対円で上昇圧力が優勢となりました。

前期における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2017. 3. 23 ～ 2017. 9. 22）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は140円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額11,055,126円が、経費控除後の配当等収益2,713,557円を超過しているため、純資産額の元本超過額11,055,126円（1万口当り606.76円）を分配対象額として、うち2,550,781円（1万口当り140円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 3. 23~2017. 9. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	72円	0.694%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,334円です。
(投 信 会 社)	(28)	(0.272)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.408)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	73	0.706	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2017年3月23日から2017年9月22日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	27,024	31,900

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	183,945	156,921	189,764

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	189,764	97.3
コール・ローン等、その他	5,331	2.7
投資信託財産総額	195,096	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.24円、1オーストラリア・ドル=88.76円です。

（注3）ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,156,236千円）の投資信託財産総額（1,166,173千円）に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	195,096,359円
コール・ローン等	4,831,568
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド（評価額）	189,764,791
未収入金	500,000
(B) 負債	4,393,366
未払収益分配金	2,550,781
未払解約金	522,266
未払信託報酬	1,312,112
その他未払費用	8,207
(C) 純資産総額（A - B）	190,702,993
元本	182,198,648
次期繰越損益金	8,504,345
(D) 受益権総口数	182,198,648口
1万口当り基準価額（C / D）	10,467円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,467円です。

■損益の状況

当期 自2017年3月23日 至2017年9月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 207円
支払利息	△ 207
(B) 有価証券売買損益	4,875,594
売買益	4,875,594
(C) 有価証券評価差損益	4,166,487
(D) 信託報酬等	△ 1,418,656
(E) 当期損益金（A + B + C + D）	7,623,218
(F) 前期繰越損益金	4,409,901
(G) 解約差損益金	△ 977,993
(H) 合計（E + F + G）	11,055,126
(I) 収益分配金	△ 2,550,781
次期繰越損益金（H + I）	8,504,345

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は14ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	140円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。)を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2017年9月22日)

(計算期間 2017年3月23日～2017年9月22日)

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p style="margin-left: 20px;">ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p style="margin-left: 20px;">ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p style="margin-left: 20px;">ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

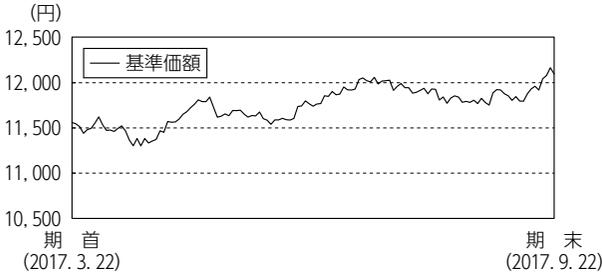
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率			
(期首) 2017年 3月22日	円	%	%	%
3月末	11,559	—	97.8	—
4月末	11,620	0.5	97.7	—
5月末	11,564	0.0	95.6	—
6月末	11,635	0.7	96.3	—
7月末	11,864	2.6	97.7	—
8月末	11,882	2.8	98.2	—
9月末	11,921	3.1	94.7	—
(期末) 2017年 9月22日	12,093	4.6	98.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,559円 期末：12,093円 騰落率：4.6%

【基準価額の主な変動要因】

主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下(債券価格の上昇)に加え、米ドルと豪ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

米国やオーストラリアなどの海外債券市況は、期首から2017年7月上旬にかけては、シリアや北朝鮮の情勢に対する警戒感や、米国トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などが金利の低下要因となる一方、フランス大統領選挙の結果に対する安心感や先進各国の金融緩和姿勢後退などが金利を押し上げ、国債金利は方向感なく推移しました。その後は、トランプ政権の政策実行能力への懸念や北朝鮮情勢への警戒感が再び強まったことなどから国債金利は低下に転じましたが、9月に入ると、地政学リスクへの懸念後退や米国の金融緩和解除観測などを背景に、期末にかけて国債金利の上昇圧力が強まりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債は、金利が低下しました。発行体信用力に目立った悪化は見られず、世界的な低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、多くの銘柄でスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が縮小しました。

○為替相場

米ドルや豪ドルは対円で上昇しました。期中は、北朝鮮情勢などの地政学リスクに対する警戒感やトランプ政権の政策実行能力への懸念などが、折りに触れて円高圧力となりました。しかし、米国の金融緩和解除の進展観測などを背景に、期を通じて見ると米ドルや豪ドルは対円で上昇圧力が優勢となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

◆ポートフォリオについて

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年3月23日から2017年9月22日まで)

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			—	832 (321)
オーストラリア	社債券	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	
		—	709 (500)	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年3月23日から2017年9月22日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
		KROGER CO (アメリカ) 3.3% 2021/1/15	56,513
		Westpac Banking Corp (オーストラリア) 5.3767% 2022/8/23	41,600
		Time Warner Cable Inc (アメリカ) 5% 2020/2/1	35,553
		Aurizon Network Pty Ltd (オーストラリア) 5.75% 2020/10/28	9,536
		National Australia Bank Ltd (オーストラリア) 2.57% 2018/11/8	8,938

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
区 分	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	7,100	7,739	868,675	75.5	—	60.1	15.4	—
オーストラリア	2,800	2,927	259,803	22.6	—	—	11.6	11.0
合 計	—	—	1,128,478	98.1	—	60.1	27.0	11.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	MetLife Inc	社債券	3.0000	千アメリカ・ドル 200	千アメリカ・ドル 200	千円 22,511	2025/03/01
	FedEx Corp	社債券	4.9000	300	338	37,978	2024/01/15
	Hewlett-Packard Co	社債券	4.6500	500	538	60,407	2021/12/09
	FORD MOTOR CR. CO.	社債券	4.2500	500	526	59,046	2022/09/20
	Anheuser-Busch InBev Finance Inc	社債券	2.6250	300	301	33,805	2023/01/17
	Wal-Mart Stores Inc	社債券	5.8750	300	376	42,278	2027/04/05
	Verizon Communications Inc	社債券	4.1500	300	318	35,716	2024/03/15
	HOME DEPOT INC.	社債券	3.7500	200	212	23,815	2024/02/15
	CITIGROUP INC.	社債券	5.5000	500	562	63,151	2025/09/13
	Wells Fargo & Co	社債券	4.1250	500	529	59,408	2023/08/15
	Bank One Corp	社債券	7.7500	500	633	71,071	2025/07/15
	GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社債券	4.0000	500	526	59,106	2024/03/03
	BPCE SA	社債券	5.1500	500	538	60,460	2024/07/21
	RABOBANK NEDERLAND	社債券	4.6250	500	539	60,504	2023/12/01
	GlaxoSmithKline Capital PLC	社債券	2.8500	500	510	57,305	2022/05/08
	Santander UK PLC	社債券	5.0000	500	541	60,785	2023/11/07
	Telefonica Emisiones SAU	社債券	4.5700	500	546	61,319	2023/04/27
通貨小計	銘柄数 金 額	17銘柄		7,100	7,739	868,675	
オーストラリア	Brisbane Airport Corp Pty Ltd	社債券	6.0000	千オーストラリア・ドル 500	千オーストラリア・ドル 537	47,744	2020/10/21
	Incitec Pivot Ltd	社債券	5.7500	500	517	45,910	2019/02/21
	Aurizon Network Pty Ltd	社債券	5.7500	900	965	85,709	2020/10/28
	National Australia Bank Ltd	社債券	2.5700	900	906	80,438	2018/11/08
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		2,800	2,927	259,803	
合 計	銘柄数 金 額	21銘柄				1,128,478	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	1,128,478	96.8
コール・ローン等、その他	37,694	3.2
投資信託財産総額	1,166,173	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.24円、1オーストラリア・ドル=88.76円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,156,236千円)の投資信託財産総額(1,166,173千円)に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月22日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,180,613,978円
コール・ローン等	26,599,919
公社債(評価額)	1,128,478,649
未取入金	14,513,066
未取利息	11,022,344
(B)負債	29,959,100
未払金	14,459,100
未払解約金	15,500,000
(C)純資産総額(A-B)	1,150,654,878
元本	951,515,296
次期繰越損益金	199,139,582
(D)受益権総口数	951,515,296口
1万口当り基準価額(C/D)	12,093円

*期首における元本額は1,176,526,174円、当期中における追加設定元本額は22,943,876円、同解約元本額は247,954,754円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジあり)794,594,109円、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジなし)156,921,187円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は12,093円です。

■損益の状況

当期 自2017年3月23日 至2017年9月22日

項 目	当 期
(A)配当等収益	27,673,408円
受取利息	27,676,046
支払利息	△ 2,638
(B)有価証券売買損益	31,345,010
売買益	34,116,567
売買損	△ 2,771,557
(C)その他費用	△ 97,620
(D)当期損益金(A+B+C)	58,920,798
(E)前期繰越損益金	183,457,906
(F)解約差損益金	△ 46,295,246
(G)追加信託差損益金	3,056,124
(H)合計(D+E+F+G)	199,139,582
次期繰越損益金(H)	199,139,582

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。